

三三三二一番

冬ふゆごもり 春はるさり来くれば 朝あしたには 白しら露つゆ置おき
 夕ゆふへには 霞かすみたなびく 風かぜの吹ふく 木こ末ぬれが下したに
 うぐひす鳴なくも

三三三二二番

三み諸もろは 人ひとの守もる山やま 本もと辺へには あしはなび花な咲さき
 末すゑ辺へには 椿つばき花はな咲さく うらぐはし 山やまそ 泣なく
 子こ守もる山やま